

令和 4 年度東京農業大学 外国人・帰国子女入学試験問題

科目	英語	学科	受験番号	氏名
----	----	----	------	----

I Read the following passage and choose the best answer.

The New Forest is a National Park situated on the south coast of England, which was originally designated as a royal hunting reserve in 1079. Since that time, the New Forest has been continually subjected to intensive disturbance resulting from human activity. Uniquely, the area still maintains a traditional communing system, which became formalized in late medieval times. This permits local people to use the Forest to support their livestock. Although browsing and grazing by livestock is today the most significant form of disturbance, other traditional uses included collection of turf and peat for fuel, and harvesting of heathland plants for fodder, thatch and bedding. Burning of heathland was also carried out to provide fresh regrowth for livestock.

Today, the New Forest is exceptionally important for biodiversity. The Forest is described as the largest area of semi-natural vegetation in lowland Britain, and includes large tracts of heathland, valley mire and ancient pasture woodland. The species richness of many groups is very () compared with the national situation. For example, more than two-thirds of the British species of reptiles and amphibians, butterflies and moths, fish, bats, and dragonflies are found in the area. Even for those groups that are less well represented, at least one-sixth of all British species have been recorded. In every group considered, the New Forest is home to species of national conservation concern, and in some groups, the numbers of such species is very substantial: for example 264 butterflies and moths, and 142 lichens.

Notes : **peat** decaying material that is found under the ground in some cool, wet regions

amphibian an animal that can live both on land and in water

出典 : Forests and Global Change edited by David A. Coomes, David F.R.P. Burslem, William D. Simonson (C) British Ecological Society 2014. Reproduced with permission of the Licensor through PLSclear.

- 1 Which of the following is closest in meaning to the underlined word disturbance?

1

① trouble ② experiment ③ harmony ④ cooperation
- 2 Which of the following is NOT correct about the passage?

2

① The New Forest is very important for biodiversity.
② The New Forest is a highly innovative type of forest.
③ The New Forest has suffered from human interference.
④ The New Forest was formerly used as a royal hunting site.

- 3 Which of the following is the most suitable word for ()? 3
- ① ignored ② unnoticed ③ high ④ little
- 4 Which of the following is closest in meaning to the underlined sentence “the numbers of such species is very substantial”? 4
- ① There are many such species.
- ② The account number of the species is very big.
- ③ A number of species do not exist.
- ④ Only a few species are really important.
- 5 Which of the following is the most appropriate title for the passage? 5
- ① Why Do People Stop Visiting the New Forest
- ② The Significance of the New Forest
- ③ The National Situation of Livestock in England
- ④ The New Forest and the Royal Family

II Identify the underlined expression that must be changed in order to make the sentence grammatical.

- 1 The fact that some people have experience the effect less than others suggests that some people ① ② ③
may naturally have higher threshold for negative symptoms than others. ④ 1
- 2 It is like that both musicians participated in the concert the following day which was ① ② ③
attended by numerous artists. ④ 2
- 3 Salt was a rare and costly commodity in ancient times. It's properties were not understood, ① ② ③
and it was thought to have magical powers. ④ 3
- 4 I have met many peoples who have told me about the book they have been planning to write ① ② ③
but have not ever yet found the time. ④ 4
- 5 There is no guaranteed way to find a good place for eat when you are in a strange town. ① ② ③ ④
5

6 Driving is a skill which requires training and, like other skills, it can maintain at a high level
 only by regular practice.
 ① ② ③ ④

6

7 Among the languages that are spoken today, only a few is well known to us. Of many
 we have inadequate information, others not at all.
 ① ② ③ ④

7

8 Money has never made a man happy yet, or will it. There is nothing in its nature to produce happiness.
 ① ② ③ ④

8

9 In the first place, our new machine is very safer than the previous model. Second,
 it makes less noise and finally, it is less expensive.
 ① ② ③ ④

9

10 Conventionally medicine still has the upper hand in the West but alternative medicine
is also embraced by millions of people.
 ① ② ③ ④

10

III Choose the word that best keeps the original meaning of the underlined expression.

1 I am heartily grateful for what you have done for me.
 ① unhappy ② obliged ③ grave ④ large

1

2 She does only things she likes and leaves things to others.
 ① rejects ② departs ③ breathes ④ blossoms

2

3 The author condensed the essence of a long book into a page or two.
 ① boundary ② cover ③ margin ④ core

3

4 We were so glad that we could scarcely contain our delight.
 ① involve ② restrain ③ enclose ④ represent

4

5 The manager made various arrangements to meet the convenience of clients.
 ① accommodation ② acquaintance ③ benefit ④ discomfort

5

令和4年度 東京農業大学 外国人・帰国子女入学試験問題

第1問 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

アナログとかデジタルという言葉も、もう普通に使われる言葉になってしまった。デジタルはディジット、つまり指に由来する言葉である。指折り数えるというような、離散的な量の表示である。

アナログは連続量と訳されることが多いが、もともとはアナ（類似の）とログ（論理）に由来する言葉である。ある量を別の何かの量に変えて表示すること。時間という連続量を、文字盤の上の針の角度で類似させたり、温度を水銀柱の高さで近似させたりする、これらがアナログ表示。いっぽう、デジタル時計では、連続量である時間を数値化する。標本化するのだと言ってもいいだろう。連続量を離散量に標本化する作業だから、どんなに細かく区切っても、量と量のあいだには空隙が残る。

われわれはアナログの世界に生きている。1分、2分という区切りに関係なく時間は私のなかを流れているし、空気にもその匂いにも境目はなく、数えることはもちろんできない。

そんな世界にあって、感覚としてアナログを捉えることはできても、それを表現することはできないものである。表現した途端にそれはアナログからデジタルに変換されてしまうからである。アナログ世界は表現不可能性のなかでのみ成立しているとも言える。「今日は38度もあった」と言えば、38度という数値は理解できるが、その人が感じている暑さは、38という数値のなかにはない。

ア何も数値化だけがデジタル化なのではなく、言葉で何かを言い表わす、そのことがすなわちデジタル化そのものなのである。言葉で表わすとは、①対ショウを取り出して、当てはまる言葉に振り分ける、すなわち分節化する作業である。外界の無限の多様性を、有限の言語のよって切り分けるという作業なのである。

一本の大きな樹がある。「大きな」という言葉の選択の裏には、「見上げるばかりの」とか「天にも届きそうな」とかの別の表現が、②セン在的な可能性としては数えきれないほど存在したはずで、そんな可能性をすべて断念し、捨象した表現が「大きな樹」という便宜的な表現になったのである。「大きな樹」は、その樹の属性の一部ではあっても、その樹の全体性には少しも届いていない。「Ⅰ」という表現自体が、言葉のデジタル性をよく表わしている。

人は自分の感情をうまく言い表わせない時、言葉のデジタル性を痛感する。言葉と言葉の間にあるはずのもっと適切な表現をめぐって苦闘する。感情を含めたアナログ世界をデジタル表現に移し替えようとするのが、詩歌や文学における言語表現であるとも言える。

折に触れてコミュニケーションの大切さが言われるが、私たちはⅡ、デジタルをデジタルに変換しただけの作業を、コミュニケーションだと錯覚しがちである。「この文章の③意トするところを五〇字以内でまとめよ」式の、言葉の指示機能の反復レッスンは、デジタル表現を別のデジタル表現に変換する練習にしか過ぎない。

もともと言語化できないはずのアナログとしての感情や思想があり、それを言語に無理やりデジタル化して相手に伝えること、それがコミュニケーションの基本である。『哲学事典』（平凡社）は、そのところを、「送り手が記号を媒介にして知覚、感情、思考など各種の心的経験を表出し、その内容を受け手に伝える過程」と④定ギしている。ここで言う「Ⅲ」とは、ヒトの場合であれば言語ということになるが、動物の場合は、鳴き声や、身振り、威嚇など、いずれもアナログな表現がコミュニケーションの「媒介」手段である。ヒトだけが、⑤レイ外的にコミュニケーションにデジタルを用いることが多いのである。

言語を媒介としているので、受け手としては、どうしても言語の抱え持っている辞書的な情報そのものを、送り手の伝えたかったすべてと考えてしまいやすい。しかし、送り手の内部でアナログのデジタル化は、ほとんどの場合、不十分なものであるはずなのである。イ特に複雑な思考や、あいまいな感情などを伝えようとするときには、デジタル化はほぼ未完のままに送り出されると思っておいたほうがいいだろう。

従って、伝えられたほうは、言葉を単にデジタル情報として、その辞書的な意味だけを読み取るのではなく、デジタル情報の隙間から漏れてしまったはずの相手の思いや感情を、自分の内部に再現する努力をしてはじめてコミュニケーションが成立するのである。真のコミュニケーションとは、ついに相手が言語化しきれなかった「間」を読みとろうとする努力以外のものではないはずである。ウそれがデジタル表現のアナログ化であり、別名、「思いやり」とも呼ばれるところのものなのである。

（永田和宏『知の体力』より）

問1 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直したものと正しいものを、次の各群の1～5のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

- ① 対ショウ (1 照 2 商 3 称 4 小 5 象)
② セン在 (1 千 2 専 3 選 4 潜 5 線)
③ 意ト (1 途 2 図 3 渡 4 度 5 塗)
④ 定ギ (1 儀 2 義 3 議 4 偽 5 疑)
⑤ レイ外 (1 令 2 礼 3 例 4 冷 5 励)

問2 空欄 I ～ III に入る最も適当な語句を、次の各群の1～5のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

- I (1 言葉には尽くせない 2 言葉が過ぎる 3 言葉に甘える 4 言葉に花が咲く 5 言葉を呑む)
II (1 なぜかという 2 そのためには 3 それならば 4 ともすれば 5 したがって)
III (1 デジタル 2 アナログ 3 記号 4 心的経験 5 過程)

問3 傍線部ア「何も数値化だけがデジタル化なのではなく、言葉で何かを言い表わす、そのことがすなわちデジタル化そのものなのである」とあるが、この一文の説明として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 前段では、アナログよりもデジタルの方がすぐれていると述べてきたが、これ以降では、言葉に関してだけはアナログの方がよりすぐれているという話題を展開しようとしている。
- 2 前段では、デジタルよりもアナログの方がすぐれていると述べてきたが、これ以降では、その一例として言葉に関してもアナログの方がすぐれていることを説明しようとしている。
- 3 前段で述べてきた、時間を数値化したものがデジタル化であるというテーマについて、さらに理解しやすくするために、これ以降では言葉についての一例を補足しようとしている。
- 4 前段では、連続量を数値化したものがデジタル化なのであるという説明をしてきたが、これ以降では、本題ともいえる、言葉のデジタル性についての記述に移行しようとしている。
- 5 前段で述べた、数値化だけがデジタル化であるという一般的な認識を否定して、これ以降では、言葉で言い表わすことだけがデジタル化であるという主張を開始しようとしている。

問4 傍線部イ「特に複雑な思考や、あいまいな感情などを伝えようとするときには、デジタル化はほぼ未完のままに送り出されると思っておいたほうがいだろう」とあるが、この一文の内容として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 送り手の内部でも、自分の思いを言語化することはほぼ不十分であるのに、それが複雑な思考やあいまいな感情ともなると、受け手にきちんと伝わるように言語化することは、よりいっそう難しくなるだろう。
- 2 送り手自身にとっては、複雑な思考やあいまいな感情を頭の中で言語化することは容易であるが、それを受け手へ伝える時にはじめて、表現に苦闘してしまうので、言語化が不完全なものとなるだろう。
- 3 送り手は、単純な思考や素直な感情を、適切な表現として言語化することに関しては完璧にできるが、複雑な思考やあいまいな感情では、適切な表現として言語化することはおよそ不可能なものとなるだろう。
- 4 送り手は、単純な思考や素直な感情ならば、簡単に数値化することができるが、複雑な思考やあいまいな感情では、絶対に数値化できなくなってしまうので、言葉のデジタル性は不十分と言うしかないだろう。
- 5 言葉の辞書的な意味をすべて理解している人間はいないので、送り手は自分の思考や感情を表わす言葉のアナログ化に苦労してしまい、さらに受け手は相手の思考や感情のデジタル化に苦労してしまうだろう。

問5 傍線部ウ「それ」の指す内容として最も適当なものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 単にデジタル情報として、言葉の辞書的な意味だけを読み取る方法
- 2 言葉の辞書的な意味だけを読み取って、自分の内部に再現する方法
- 3 相手の思いや感情が、デジタル情報の隙間から漏れてしまうこと
- 4 相手が言語化しきれなかった「間」を読み取ろうとする努力
- 5 言語化しきれなかった「間」を読み取ろうとする努力以外の方法

問6 本文の主題と合致するものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 われわれはアナログの世界に生きていて、感覚としてアナログを捉えることはできても、感覚としてデジタルを捉えることはできないので、アナログの方が優れていると言える。
- 2 われわれはアナログの世界に生きていて、その世界は表現不可能性のなかで成立しているので、なるべくアナログを排除して、デジタルという数値化を追求していくべきである。
- 3 われわれは感覚としてアナログを捉えることはできても、その感覚を表現しようとした途端にデジタルに変換されるので、コミュニケーションをとることは絶対に不可能である。
- 4 コミュニケーションとは、アナログとしてもともと言語化できないはずの感情や思想を、無理やりデジタル化して相手に伝えることなので、ヒトにのみ与えられた贈り物である。
- 5 コミュニケーションをとるためには、言葉の辞書的な意味だけを読み取るのではなく、漏れてしまった相手の思いや感情を自分の内部に再現しようとする思いやりが必要である。

第2問 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

ある夏のこと。富士五湖をバスで走っていた。あるところへ来ると、豁然と富士が姿をあらわした。夏休みの小学生らしいこどもをつれたお母さんが、

「A」

と叫んだ。黒々とした巨大な山が迫っている。はじめて見る景色で息をのんでいると少年が叫ぶように、

「B」

お母さんがあわてるようにして何か言うが少年は、断乎としている。

「違う！あんなのウソの富士山だッ」

「C」

と言って母親は黙した。ほかの乗客から笑い声がもれたようだったが、わたくしは、たいへんおもしろいと思った。

この少年、実際の富士山D見るのははじめてだが、富士山を知らないわけではない、写真で見たことが何度もある。雪をいただいた遠望E麗峰である。ここで見える黒いかたまりとは似ても似つかない。写真の富士が本モノF、あれはウソの富士。少年の判断をまちがっているGは言いかねる。

近すぎてはいけない。ア 遠くから見るから富士は富士になる。

〈 中 略 〉

従僕に英雄なし

という。世人が評価する人物も、側近のものには、そのよさが見えないから、尊敬することを知らない。近すぎるのである。

従者でなくとも、近くにいる人たちは、すぐれた人物をすぐれていると認めることが難しい。【1】誤解されてこの世を去る人は、古来どれくらいあるかわからない。

目の前の山は高くても、山麓にいるものには、見えない。目につくのは、石ころばかり、ロクに花も見られない。【2】あちこちみにくい赤土が顔をのぞかせている。とても尊敬する気にはなれない。英雄は英雄になることがなくこの世を去る。そして、三十年もするとかつての人物が中景の存在となり、あちこちがかすみ、消えて、まろやかになる。【3】近景の人物が中景の人物に変ずる。なんということなしに、心ひかれるようになる。

ここから、歴史的変化がはじまる。【4】不幸にして、それがおこらない場合、中景になりそこなったものは、遠景になることなく湮滅する。

大悪人のように言われた政治家が、三十年、四十年すると、案外、偉大だったかもしれないなどと言われ出す。【5】それに引きかえ、近景で羽ぶりのよかったのが、声もなく消える。近景だけ見て、わかったように思うのは、小才子の思い上りである。人間の世界には中景というものがあって、歴史も、そこから生まれる。そういうことを知らなくても、優等生としてイ大手をふることができるから、この世はたのしい。

近代日本の文化人、文学者で、もっともすぐれていたのはウ夏目漱石であるというのが定評になりつつあるが、もともとそうであったわけではない。イギリスへ留学した漱石は英語の教師であった。留学で勉強して英文学の学者になろうとしていたと①ソウゾウされる。決して偉大ではなかった。

遠縁の池田菊苗が、ドイツ留学から帰国するに際して、ロンドンの漱石を訪ねた。何をしているかと問われて漱石は、十八世紀の英文

学を読んでいると答える。池田は、ドイツで新しい有機化学を②カイトしようとしていたのだから、漱石の志の低いのをもの足りなく思ったのであろう。西洋人のしないことをすべきだ、とはげましたらしい。漱石は心機 H 転、前 I 未踏の文学研究を志して、勉強をはじめた。

英文学の本を片づけ、社会学と心理学の本をあつめて勉強をはじめた。二十世紀になったばかりのころのことで、日本の大学で、社会学の講座のあるところはなかった。心理学の講義のできる教授もいなかった。漱石の③クナンはたいへんなものであったが、学問として文学を考える方法論をほとんど確立した。世界に比を見ない大業である。

それをおかえて帰朝した漱石は東京大学の講義において、それを発表した。ラフカディオ・ハーンからこども向きの英文学を教わっていた学生に、この画期的文学論の価値のわかるわけがない。期せずして、漱石排斥運動^{はいせき}がおこる。のち漱石門下になる森田草平などもそのお先棒をかついでいたらしい。

漱石の「文学論」は、外から文学に迫るもので、その先鋒が社会学と心理学だった。明治の学生にわかるわけがない。漱石は、自信を失って、教職をすてることになり、日本英文学は夢のようになってしまった。

それから二十余年後、一九二〇年代になって、イギリスはケンブリッジ大学の学者、I・A・リチャーズが、新文学研究の理論を発表、世界をおどろかせることになる。リチャーズの方法は、心理学と生理学から文学に迫るというもので、期せずして、漱石の、心理学・社会学の援用に通じるところがある。漱石は俗衆につぶされたが、リチャーズには小なりといえども④シジするケンブリッジ学派があつて世界的になることができた。

〈 中 略 〉

リチャーズの文芸批評論も、近景として、イギリスではうまく受容されたとはいいがたかった。アメリカへ渡って、中景の業績として、高く評価され、新しい文学運動をおこすまでになった。本質的に変化したわけではない。近くにあったときには見えなかったものが、はなれて見るとはっきりしたのである。

工富士の山麓で頂上を仰いでも見えないものが三保の松原まで離れて見ると、はっきり見えるのと、リチャーズの文学論にも、似たところがある。日本の漱石の大業は、その中景の機を与えられないままに沈んだ例である。中景が美しく、すぐれているのである。いまでは遅すぎる。

(外山滋比古『伝達の整理学』より)

問1 傍線部①～④のカタカナと同じ漢字を用いるものを、次の各群の1～5のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。

- ① ソウゾウ
- 1 みんなでソウダンして決める。
 - 2 琴のエンソウに聴きほれる。
 - 3 季節に合ったフクソウに着替える。
 - 4 物語をソウサクする。
 - 5 読後のカンソウを述べる。

- ② カイタク
- 1 国語の問題にカイトうする。
 - 2 病人のカイゴに尽力する。
 - 3 中断していた試合をサイカイする。
 - 4 ドウソウカイに出席する。
 - 5 気分がソウカイになる。

- ③ クナン
- 1 最新の技術をクシする。
 - 2 隅々にまでサイクを施す。
 - 3 友人にクゲンを呈する。
 - 4 感情が高ぶってゼクする。
 - 5 お盆では先祖をクヨウする。

問10 本文の内容と合致するものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 どんなに素晴らしい人であっても、それが側近のような身分の低い者であれば、世間からは尊敬の対象になりにくい、それは間違っていると歴史が証明している。
- 2 英雄が英雄にならずに死んで、三十年も経てば、なんとなく心ひかれるようになって、歴史的変化がはじまり、英雄だったかもしれないと世間が認めるようになる。
- 3 今では近代日本の文学者として有名な夏目漱石も、イギリス留学をしてきたというだけの理由で、帰国後には大学から追放されるという理不尽な扱いを受けている。
- 4 夏目漱石は自信を失って教職をすててしまったために、大業を成し遂げられずに終わったが、リチャーズのような努力を続けていれば、きっと成功したはずである。
- 5 夏目漱石は、作家として評価される機会を与えられないまままで今日を迎えているが、彼の執筆した小説は歴史的に見ても、美しくすぐれた偉業だと私は信じている。

令和4年度 東京農業大学 外国人・帰国子女入学試験解答欄

第1問

問1	①		②		③		④		⑤	
問2	I		II		III					
問3			問4			問5			問6	

第2問

問1	①		②		③		④			
問2										
問3	D		E		F		G			
問4			問5			問6				
問7	(a)		(b)		問8	H		I		
問9										
問10										

ところ

科目	学科	受験番号	氏名
日本語	学科	番	